

### 第3節 シティプロモーション課

#### 〔総括概要〕

シティプロモーション課の主な分掌事務は、シティプロモーション、マスコットキャラクターの活用及び広報広聴関係業務である。

シティプロモーション関係業務については、「あるが嬉しいゆるやか栃木市」のキャッチコピーのもと、本市に存在する「ある」を市内外に知ってもらうため、冊子、ポスターの制作を行った。また、本市の知名度向上のため、海外でのイベントに出展した。

マスコットキャラクター活用業務については、平成26年4月5日に誕生した栃木市マスコットキャラクター「とち介」を広くPRすることで、市民の一体感の醸成や本市の知名度の向上に努めた。また、とち介の派遣業務やデザイン申請の受付及び承認を行ったほか、県外にて開催された大規模なキャラクターイベントに参加し、本市の周知を行い、誘客を図った。

広報業務については、市民への市政情報の提供及び市外に向けての情報発信を目的として、広報紙の発行、公式ホームページ等の活用、報道機関への情報提供等、積極的な広報活動を展開した。

広報紙については、見やすく、親しみやすいA3判で、毎月1回発行した。また、ホームページに加えてSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を活用した広報活動として、公式ツイッター及び公式フェイスブックによる広報を行った。さらに、栃木市コミュニティFM「FMくらら 857」を活用し、身近な地域情報や災害・防災情報の配信を行った。

広聴業務については、まちづくり懇談会ふれあいトーク、市長へのアイデア直通便などを実施した。また、子育て世代のニーズや意見等を子育て支援施策に活かすとともに、本市の進める子育て支援施策について理解を深めてもらうことを目的として子育て世代を対象にしたふれあいトークを開催し、市政に関する意見、提案を広く求めた。

#### シティプロモーション係

##### 1 シティプロモーション業務

###### (1) シティプロモーション事業

ア 本市をPRするために使用する、動画、冊子、ポスターを制作した。

- ・栃木市シティプロモーション動画（2分間、45秒間 動画サイト「YouTube」にアップロード）
- ・栃木市シティプロモーション冊子 Tochigi City Real Visual Magazine 「aru」（B5判、40ページ、500部）
- ・栃木市PRポスター（デザイン2種、B1判、各50部 B2判、各500部）

イ 2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を踏まえ、本市の知名度向上

のため、海外で開催された日本文化のイベントへ出展した。

- ・「Japan Expo」 7月6日（木）～9日（日）  
フランス パリ市 ノール・ヴィルパント展示場
- ・「台北国際動漫節」 2月1日（木）～4日（日）  
台湾 台北市 南港展覽館

## (2) 栃木市ふるさと大使

ア 本市の魅力を広く効果的に情報発信することにより、本市の知名度及びイメージの向上を図るとともに市民の一体感及び郷土愛を醸成することを目的とした「栃木市ふるさと大使制度」を設け、市にゆかりのある方に委嘱している。

- ・栃木市ふるさと大使 20人（赤荻一也氏、石川恋氏、桂小南氏、菊池優氏、古今亭志ん橋氏、澤村拓一氏、春風亭柳橋氏、武井沢也氏、寺内崇幸氏、富田晋伍氏、橋本章氏、半屋弘蔵氏、冬木れい氏、古川登志夫氏、間中利美氏、茂手木章氏、山田五郎氏、山田昌彦氏、吉川真氏、渡辺俊介氏）

2団体（栃木ウーヴァフットボールクラブ、MAGIC OF LiFE）

イ ふるさと大使による情報発信を強化するため、FMくらら857への出演、シティプロモーション冊子へのインタビュー記事掲載を行った。

- ・ふるさと大使ラジオ出演（FMくらら857）（古今亭 志ん橋氏、春風亭 柳橋氏、MAGIC OF LiFE）
- ・Tochigi City Real Visual Magazine 「aru」インタビュー記事掲載（古川 登志夫氏、MAGIC OF LiFE）

## 2 マスコットキャラクター活用業務

### (1) とち介派遣事業

栃木市マスコットキャラクター「とち介」を市主催のイベントや学校行事、市内外の地域イベント等に派遣し、とち介自身のPRと共に市民一体感の醸成に努めた。

- ・派遣回数 294回（市内218回 市外76回） 月平均 約25回

### (2) デザイン申請・承認手続

とち介のデザインを用いた商品等の、デザイン使用申請の受付及び承認を行った。

- ・承認件数 198件（販売品111件 非売品87件）
- ・商品 キーホルダー、衣類、トートバッグ、ポシェット、ワッフル、パン等

### (3) とち介関連のイベント開催

とち介に関連する各種イベントを開催した。

- ・とち介のお誕生会2017 4月16日（日） 栃木市総合運動公園総合体育館  
来場者数 約2,700人
- ・とち介年賀状コンテスト  
応募作品225点
- ・とち介のクリスマス会 12月16日（土）、20日（水）  
栃木市役所本庁舎1階市民スペース 来場者数 延べ約150人

(4) とち介公式SNSによる情報発信

とち介目線のゆるやかな言葉で、本市の情報等を継続的に発信した。

- ・ツイッター フォロワー数 6,567人
- ・フェイスブック いいね！件数 1,846件
- ・インスタグラム フォロワー数 2,450人

(5) マスコットキャラクター応援基金

マスコットキャラクター活用推進の財源確保のため、栃木市ふるさと応援寄附（ふるさと納税）の「マスコットキャラクター活動支援事業」コースにて寄附を募った。

- ・受入件数 102件
- ・受入額 2,974,000円

広報広聴係

1 広報業務

(1) 広報紙等による広報

市政全般について掲載した広報紙を発行し、市政のPRに努めた。

ア 広報とちぎ

- ・発行回数 定期12回（毎月1回）
- ・発行部数 53,500部
- ・仕様 A3判2つ折り

号	ページ数		号	ページ数	
	4色	2色		4色	2色
85(5月号)	4	12	91(11月号)	8	8
86(6月号)	8	8	92(12月号)	8	8
87(7月号)	8	8	93(1月号)	8	8
88(8月号)	8	8	94(2月号)	8	8
89(9月号)	8	8	95(3月号)	8	8
90(10月号)	8	8	96(4月号)	8	8

イ 広報とちぎ点字版

- ・発行回数 定期6回（2か月に1回）
- ・発行部数 28部
- ・仕様 B5判点字用紙（約45ページ）

ウ 声の広報とちぎ

朗読ボランティア「あかり」及び朗読グループ「いずみ」の協力を得て発行

- ・発行回数 定期12回（毎月1回）
- ・仕様 CD・カセットに音声収録

(2) ホームページによる広報

ホームページにおいて、市政情報やイベント、観光案内、生活ガイド等の情報を積極的に市内外に発信した。

- ・アクセス件数（ページビュー数）4,513,827件
- (3) SNSを活用した広報
- SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）による広報を行うことで、多様な媒体を通じての情報発信強化に努めた。
- ・投稿内容 行政情報、観光情報、災害情報等
  - ・投稿数 フェイスブック 528件 ツイッター 1,380件
- (4) テレビ・ラジオ等による広報
- ア C A T Vコミュニティチャンネル
- 広報とちぎの内容や市政情報等について、ケーブルテレビ(株)に番組制作を委託し、同社のコミュニティチャンネル（デジタル111チャンネル）で放送した。
- 主な番組
- ・栃木市長通信  
広報とちぎの「市長通信」のケーブルテレビ版で市政情報等を市長から伝えた。  
5分番組で、月毎にテーマを変えて放送した。（1日5回程度放送）
  - ・生活文字情報  
文字スクロールによる生活情報で、1日9回、毎日放送した。
  - ・エリア便  
イベント等の告知情報で、毎週月・木曜日に約1分間放送した。
  - ・新春特別番組「新年のご挨拶 栃木市」  
市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。  
10分番組で、1月1日（月）～7日（日）に放送した。
- イ とちぎテレビ
- 市政のPRを行うため、(株)とちぎテレビに番組制作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。
- ・新春特別番組「2018年 わが街発！」  
30分番組のうち10分間で、1月1日（月）、2日（火）に放送した。
- ウ 栃木放送（C R T）
- 市政のPRを行うため、(株)栃木放送に番組制作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。
- ・新春特別番組「新しい年を迎え栃木市長に聞く」  
10分番組で、1月1日（月）、2日（火）に放送した。
- エ エフエム栃木
- 市政のPRを行うため、(株)エフエム栃木に番組制作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。
- ・新春特別番組「新春市長インタビュー」  
10分番組で、1月1日（月）に放送した。
- (5) コミュニティFM
- 栃木市コミュニティFM「FMくらら857」を活用し、災害情報・防災情報の配信や、身近な地域情報を発信することで、市民が豊かで安心して暮らせるまちづくりの推進を図った。

ア 市の広報番組

- ・「とち介PのHAPPY TOWN」 平日の11時～11時55分
- ・インフォーマーシャル 市からのお知らせを生放送で、毎日4回放送した。
- ・CM 市からのお知らせを録音し、毎日6回放送した。

イ 災害放送

- ・災害発生時に備えるため、毎週木曜日11時に緊急割込み放送の試験放送を行った。

(6) 報道機関等への情報提供

ア 記者会見

- ・定例記者会見 毎月1回
- ・予算記者会見 年1回
- ・臨時記者会見 随時(1回)

イ 市政情報の提供 (FAXにより随時)

- ・情報提供件数 593件

(7) 広報活動推進員による活動

各課で1名広報活動推進員(庶務担当係長)を選任し、広報活動の円滑な事務を行うための研修を行った。

- ・実施日 3月15日(木) 参加者70人(広報活動推進員)
- ・テーマ「栃木市の現状とシティプロモーションについて」
- ・講師 シティプロモーション課 シティプロモーション係長

2 広聴業務

(1) まちづくり懇談会ふれあいトーク

市長をはじめとする市執行部が、市民の市政に対する意見、提案等を直接聴くことにより、課題等を共有し、市政に反映することを目的に実施した。

また、市の重要施策を市長等から直接市民に説明することにより、事業の周知を図った。

・栃木地域

実施日	出席者(人)	会場
8月3日(木)	86	第5地区コミュニティセンター
8月4日(金)	95	皆川公民館
8月7日(月)	111	第4地区コミュニティセンター
8月17日(木)	106	国府公民館
8月21日(月)	124	吹上公民館
8月24日(木)	88	第6地区コミュニティセンター

・大平地域

実施日	出席者(人)	会場
9月11日(月)	59	大平公民館
9月13日(水)	71	大平東地区公民館

9月19日(火)	65	大平隣保館
----------	----	-------

・藤岡地域

実施日	出席者(人)	会場
9月25日(月)	52	部屋地区公民館
10月10日(火)	51	藤岡総合支所(旧議会棟)
10月23日(月)	67	三鴨地区公民館

・都賀地域

実施日	出席者(人)	会場
6月29日(木)	79	赤津小学校体育館
6月30日(金)	61	家中小学校体育館

・西方地域

実施日	出席者(人)	会場
7月3日(月)	54	真名子夢ホール
7月10日(月)	79	西方総合文化体育館

・岩舟地域

実施日	出席者(人)	会場
7月13日(木)	78	静和地区公民館
7月24日(月)	64	岩舟公民館
7月31日(月)	61	岩舟健康福祉センター

(2) 市長へのアイデア直通便

市民から、市政に対する幅広いアイデアや意見、提案等をうかがい、施策に反映させるとともに、市民との協働・共生のまちづくりに資するため、広報とちぎに料金受取人払いの「市長へのアイデア直通便」を掲載し、投書受付を実施した。

・件数 36件(受付通数 27通)

(3) 市政メール箱(電子メール)

インターネットを利用した広聴活動として、ホームページ内に電子メールによる投書窓口「市政メール箱」を設け、投書受付を実施した。

・件数 112件

(4) 投書箱

本庁及び各総合支所に投書箱を設置し、投書受付を実施した。

・件数 24件

(5) 市政に関する意見の郵送及びFAXの受付

・件数 9件

(6) 来庁や電話による市政に関するご意見の受付

・件数 6件

(7) パブリックコメント

重要な施策の策定過程において、市民の市政に対する意見や提案の機会を確保するとともに、政策決定過程への市民の参画を促進し、市民との協働によるまちづくりの推進を図るため、栃木市パブリックコメント手続条例に基づき、パブリックコメ

ント（市民意見提出制度）を実施した。

- ・件数 25件

(8) 子育て世代対象ふれあいトーク

子育て世代のニーズや意見等の子育て支援施策に活かすとともに、本市の進める子育て支援施策について理解を深めてもらうことを目的として実施した。

1回目 パパ・ママ子育て世代ふれあいトーク

- ・実施日 6月24日（土）
- ・場 所 栃木保健福祉センター
- ・参加者 41人

2回目 子育て世代ふれあいトーク

- ・実施日 12月2日（土）
- ・場 所 栃木保健福祉センター
- ・参加者 37人